

平成29年度 定期作況報告

〈11月20日最終報告〉
道南農業試験場

I 気象

根雪初日は平年に比べ4日早く、根雪終日は5日遅く、根雪期間は平年より9日長かった。また、耕鋤始は2日早く、晩霜は8日早かった。

4月：平均気温は1.0℃、最高気温は1.0℃、最低気温は0.9℃平年に比べそれぞれ高かった。降水量は平年より22.5mm多く、平年の130%であった。日照時間は7.5時間少なく、同96%であった。

5月：平均気温は1.0℃、最高気温は0.8℃、最低気温は0.8℃平年に比べそれぞれ高かった。降水量は平年より24.4mm少なく、平年の71%であった。日照時間は11.7時間多く、同106%であった。

6月：平均気温は0.9℃、最低気温は1.2℃、最高気温は1.2℃平年に比べそれぞれ低かった。降水量は平年より93.8mm多く、平年の243%であった。日照時間は10.3時間多く、同106%であった。

7月：平均気温は1.8℃、最高気温は2.0℃、最低気温は1.3℃平年に比べそれぞれ高かった。降水量は平年より40.1mm少なく、平年の71%であった。日照時間は25.5時間多く、同120%であった。

8月：平均気温は2.1℃、最高気温は2.9℃、最低気温は1.6℃平年に比べそれぞれ低かった。降水量は平年より30.1mm少なく、平年の80%であった。日照時間は35.2時間少なく、同76%であった。

9月：平均気は1.3℃、最高気温は0.4℃、最低気温は2.1℃平年に比べそれぞれ低かった。降水量は平年より10.4mm少なく平年の92%であった。日照時間は42.7時間多く、同127%であった。

10月：平均気温は0.4℃、最高気温は0.5℃、最低気温は0.4℃平年に比べそれぞれ低かった。降水量は平年より31.0mm多く平年の130%であった。日照時間は5.8時間少なく、同96%であった。

本年の初霜は10月14日で平年より7日早く、初雪は11月13日で平年より4日遅かった。

以上、農耕期間の気象についてまとめると、気温は平年に比べて、4月、5月、7月は高温、6月と8～10月は低温だった。

降水量は、6月上旬、9月中旬、10月下旬は平年を大きく上回ったが、降雨が少ない期間も長く、特に9月上旬はほとんど降雨が無かった。

日照時間は全体としては平年より多かったが、6月上旬、8月中旬は平年の半分以下だった。

5月から9月の積算では、平年に比べ平均気温では45℃少なく平年の98%、降水量は11mm少なく同98%、日照時間は55時間多く同107%であった。

気象表

月旬	平均気温 (°C)			最高気温 (°C)			最低気温 (°C)			降水量 (mm)			日照時間 (時間)		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
4上	6.1	4.8	1.3	11.9	9.7	2.2	0.6	-0.3	0.9	6.0	20.7	▲ 14.7	61.5	56.3	5.2
中	7.5	6.0	1.5	11.8	11.0	0.8	2.6	1.1	1.5	67.0	21.9	45.1	47.8	61.3	▲ 13.5
下	8.5	8.5	0.0	13.8	13.8	0.0	3.3	3.1	0.2	24.0	31.9	▲ 7.9	61.2	60.4	0.8
5上	11.4	10.9	0.5	17.8	16.2	1.6	3.9	5.8	▲ 1.9	4.0	29.8	▲ 25.8	92.0	57.1	34.9
中	11.9	11.2	0.7	16.0	16.1	▲ 0.1	7.8	6.5	1.3	21.0	34.1	▲ 13.1	52.5	59.8	▲ 7.3
下	15.1	13.4	1.7	19.2	18.3	0.9	11.5	8.9	2.6	34.5	20.0	14.5	58.2	74.1	▲ 15.9
6上	13.7	14.8	▲ 1.1	17.7	19.7	▲ 2.0	10.2	10.7	▲ 0.5	124.5	14.5	110.0	30.7	64.6	▲ 33.9
中	14.8	16.4	▲ 1.6	19.4	20.9	▲ 1.5	10.2	12.7	▲ 2.5	12.0	32.1	▲ 20.1	71.6	49.2	22.4
下	17.7	17.7	0.0	22.4	22.4	0.0	13.2	13.8	▲ 0.6	23.0	19.1	3.9	81.8	60.0	21.8
7上	21.3	19.3	2.0	25.6	23.8	1.8	17.4	15.8	1.6	22.0	35.1	▲ 13.1	62.7	45.4	17.3
中	23.0	19.9	3.1	27.1	23.8	3.3	19.7	16.7	3.0	28.0	40.3	▲ 12.3	41.0	44.2	▲ 3.2
下	21.8	21.4	0.4	26.4	25.4	1.0	17.7	18.2	▲ 0.5	50.0	64.7	▲ 14.7	49.5	38.1	11.4
8上	20.8	22.7	▲ 1.9	24.2	27.1	▲ 2.9	17.9	19.1	▲ 1.2	11.0	48.1	▲ 37.1	37.4	46.9	▲ 9.5
中	18.7	22.5	▲ 3.8	21.6	26.8	▲ 5.2	16.4	18.8	▲ 2.4	38.0	52.1	▲ 14.1	22.7	49.5	▲ 26.8
下	20.5	21.3	▲ 0.8	24.8	25.7	▲ 0.9	16.2	17.4	▲ 1.2	68.5	47.4	21.1	53.5	52.4	1.1
9上	18.7	20.8	▲ 2.1	24.5	25.0	▲ 0.5	13.2	16.9	▲ 3.7	7.0	66.2	▲ 59.2	84.2	43.9	40.3
中	17.8	18.8	▲ 1.0	22.6	23.8	▲ 1.2	13.4	14.1	▲ 0.7	79.5	37.3	42.2	44.7	54.8	▲ 10.1
下	15.4	16.1	▲ 0.7	21.8	21.4	0.4	9.0	10.9	▲ 1.9	33.5	26.9	6.6	69.9	57.4	12.5
10上	14.0	13.8	0.2	19.2	18.9	0.3	8.5	8.6	▲ 0.1	6.5	40.5	▲ 34.0	55.6	53.4	2.2
中	9.3	11.3	▲ 2.0	14.5	17.0	▲ 2.5	4.0	5.8	▲ 1.8	31.0	40.3	▲ 9.3	45.4	56.2	▲ 10.8
下	9.7	9.4	0.3	14.6	14.1	0.5	4.9	4.3	0.6	98.5	24.2	74.3	48.2	45.4	2.8

月	平均気温 (°C)			最高気温 (°C)			最低気温 (°C)			降水量 (mm)			日照時間 (時間)		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
4月	7.4	6.4	1.0	12.5	11.5	1.0	2.2	1.3	0.9	97.0	74.5	22.5	170.5	178.0	▲ 7.5
5月	12.9	11.9	1.0	17.7	16.9	0.8	7.9	7.1	0.8	59.5	83.9	▲ 24.4	202.7	191.0	11.7
6月	15.4	16.3	▲ 0.9	19.8	21.0	▲ 1.2	11.2	12.4	▲ 1.2	159.5	65.7	93.8	184.1	173.8	10.3
7月	22.0	20.2	1.8	26.4	24.4	2.0	18.2	16.9	1.3	100.0	140.1	▲ 40.1	153.2	127.7	25.5
8月	20.0	22.1	▲ 2.1	23.6	26.5	▲ 2.9	16.8	18.4	▲ 1.6	117.5	147.6	▲ 30.1	113.6	148.8	▲ 35.2
9月	17.3	18.6	▲ 1.3	23.0	23.4	▲ 0.4	11.9	14.0	▲ 2.1	120.0	130.4	▲ 10.4	198.8	156.1	42.7
10月	11.0	11.4	▲ 0.4	16.1	16.6	▲ 0.5	5.8	6.2	▲ 0.4	136.0	105.0	31.0	149.2	155.0	▲ 5.8

注1) 観測値は北斗市のアメダスデータを使用、平年値は前10か年による。

注2) 表中▲印は「低」または「少」を示す。

季節調査(年.月.日)

区別	根雪初日	根雪終日	降雪終日	耕鋤始	晩 霜	初 霜	降雪初日
本年	H28.12.15	H29.3.17	H29.4.14	H29.4.7	H29.4.24	H29.10.14	H29.11.13
平年	12.19	3.12	4.11	4.9	5.2	10.21	11.9
比較	▲ 4	5	3	▲ 2	▲ 8	▲ 7	4

注1) 函館海洋気象台(函館市美原)の観測値を使用した。平年値はてん蔵から。

注2) 耕鋤始は農試データ。

注3) 表中▲印は「早」を示す。

農耕期間積算値(5~9月)

区別	平均気温 (°C)	降水量 (mm)	日照時間 (時間)
本年	2683	557	852
平年	2728	568	797

注: 北斗市のアメダスデータを用い、平年値はてん蔵から。

II 当該作況(水稲)

作況：良

播種は平年より2日遅い4月21日に行った。出芽までの日数は平年より1日短く、移植時の苗の形質は、草丈は平年より短く、莖数は平年並から上回り、葉数と地上部乾物重は平年をやや下回ったが、充実度は平年を上回った。

移植は平年より2日早い5月19日に行った。移植直後は天候に恵まれたため苗の活着は良好だったが、その後は6月下旬まで低温寡照傾向が続いたため、初期生育は停滞した。平年と比較して、幼穂形成期は1日遅く、止葉期は同等から2日遅く、出穂期は同等から1日早かった。草丈は、6月までは平年より短かったがその後は平年より長く推移した。莖数は平年より少なく推移したが、8月には平年並から上回った。主稈葉数は生育期間を通じて概ね平年並に推移し、止葉葉数も平年並だった。出穂と開花は順調で、登熟期間は多照だが低温に経過したため登熟は緩慢に進み、平年と比較して成熟期は7~8日遅く、登熟日数は7~9日長かった。

平年と比較して成熟期の稈長はやや長く、穂長は同等からやや長く、 m^2 あたり穂数は同等からやや多く、一穂粒数は同等からやや上回り、 m^2 あたり粒数は97~103%だった。稔実歩合は平年よりやや高く、登熟歩合は平年並から上回ったため、 m^2 あたり登熟粒数は平年並から上回った。

精玄米千粒重は平年をやや上回り、屑米歩合はやや下回り、収量は「ふっくりんこ」では平年の116%の65.8kg/a、「ななつぼし」では同111%の65.9kg/aであった。

なお、検査等級は心白や腹白が指摘され、「ふっくりんこ」は平年をやや下回ったが、「ななつぼし」ではやや上回った。

以上のことから、本年の作況は「良」である。

5月20日：平年並

播種は平年より2日遅い4月21日に行った。出芽は順調で出芽までの日数は平年より1日短かく、出芽期は4月26日だった。育苗期間中の気温と日照時間は概ね平年並から上回り、苗の生育は概ね順調だった。移植は平年より2日早い5月19日に行った。移植時の苗の形質は、草丈は「ふっくりんこ」「ななつぼし」ともに平年より短く、茎数は「ななつぼし」は平年並、「ふっくりんこ」では平年を上回り、葉数と地上部乾物重は平年をやや下回った。苗の充実度を表す地上部乾物重/草丈の値は平年をやや上回っている。

以上のことから、現在の作況は「平年並」である。

6月20日：やや不良

移植直後は天候に恵まれたため、苗の活着は良好だった。その後は6月半ばまでは数日間を除いて低温寡照傾向が続いたため、生育は停滞した。6月20日現在の生育では、草丈、茎数、葉数はいずれも平年をやや下回っている。

以上により、現在の作況は「やや不良」である。

7月20日：平年並

6月後半以降は平年並から高温に経過したため生育は回復し、幼穂形成期は平年より1日遅く、止葉期は平年並から早かった。草丈と主幹葉数は平年を上回り、茎数もおおむね平年並となった。なお、止葉葉数は平年並と推定される。

以上のことから、現在の作況は「平年並」である。

8月20日 平年並

止葉葉数は平年と比較して同等、草丈は長く、茎数は同等からやや多かった。出穂期はほぼ平年並で、出穂後は低温寡照が続いたため登熟は緩慢で、達観から不稔の発生は少ない。いもち病や紋枯病等、病害の発生は確認されていない。

以上、生育および収量構成要素は概ね平年並であることから、現在の作況は「平年並」である。

9月20日 平年並

多照だが低温に経過したため登熟は緩慢で、平年と比較して成熟期は7~8日遅く、登熟日数も7~9日長かった。成熟期の稈長はやや長く、穂長は同等からやや長かった。穂数は同等からやや多く、一穂粒数は同等からやや上回り、 m^2 あたり粒数は97%~103%であった。稔実歩合は平年と比較してやや高く、 m^2 あたり稔実粒数は平年の99~104%であった。

以上、現在の作況は「平年並」である。

10月20日 良

m^2 あたり稔実粒数は平年並、登熟歩合は「ななつぼし」はほぼ平年並だが「ふっくりんこ」は平年を11.9ポイント上回り、 m^2 あたり登熟粒数でも「ふっくりんこ」は平年比119%と大きく上回った。平年と比較して、千粒重はやや重く、屑米歩合は平年をやや下回った。これらの結果、 a あたり精玄米収量は、「ふっくりんこ」で65.8kg、「ななつぼし」で65.9kgで、それぞれ平年の116%、111%であった。

以上のことから、作況は「良」である。

生育及び収量調査成績

項	目	ふっくりんこ			ななつぼし		
		本年	平年	比較	本年	平年	比較
播種	期(月日)	4.21	4.19	2	4.21	4.19	2
出芽	期(月日)	4.26	4.25	1	4.26	4.25	1
移植	期(月日)	5.19	5.21	▲2	5.19	5.21	▲2
幼穂形成	期(月日)	7.04	7.03	1	6.30	6.29	1
止葉	期(月日)	7.18	7.18	0	7.16	7.14	2
出穂	期(月日)	7.28	7.28	0	7.25	7.26	▲1
成熟	期(月日)	9.20	9.13	7	9.17	9.09	8
穂揃	日数(日)	6	5	1	6	6	0
登熟	日数(日)	54	47	7	54	45	9
生育	日数(日)	152	147	5	149	143	6
移植時	乾物重(g/100本)	2.62	2.80	▲0.18	2.40	2.76	▲0.36
地上部	乾物重/草丈	0.25	0.20	0.05	0.22	0.21	0.01
草丈(cm)	移植時	10.5	13.7	▲3.2	10.7	13.4	▲2.7
	6月20日	29.0	32.5	▲3.5	31.2	34.3	▲3.1
	7月20日	78.0	69.7	8.3	80.7	73.9	6.8
	8月20日	99.6	90.4	9.2	96.5	91.7	4.8
茎数(本/m ²)	移植時	120	91	29	87	88	▲1
	6月20日	436	571	▲135	403	530	▲127
	7月20日	850	858	▲8	783	802	▲19
	8月20日	742	712	30	699	706	▲7
葉数(枚)	移植時	3.2	3.4	▲0.2	3.1	3.4	▲0.3
	6月20日	7.1	7.7	▲0.6	7.5	7.8	▲0.3
	7月20日	11.0	10.8	0.2	11.0	10.7	0.3
	8月20日	11.0	10.8	0.2	11.0	10.7	0.3
止葉	葉数(枚)	11.0	10.8	0.2	11.0	10.7	0.3
成熟期	稈長(cm)	77.2	74.1	3.1	76.1	74.1	2.0
	穂長(cm)	16.0	16.1	▲0.1	16.5	16.0	0.5
	穂数(本/m ²)	715	690	25	689	687	2
一穂	籾数	46.7	45.5	1.2	48.5	48.8	▲0.3
m ² 当	籾数(×1000)	33.4	32.5	0.9	33.4	34.3	▲0.9
m ² 当	稔実籾数(×1000)	31.6	30.4	1.2	32.0	32.4	▲0.4
m ² 当	登熟籾数(×1000)	30.9	25.9	5.0	29.1	29.2	▲0.1
稔実	歩合(%)	94.7	93.7	1.0	95.9	94.4	1.5
登熟	歩合(%)	92.5	80.6	11.9	87.2	85.5	1.7
籾摺	歩合(%)	77.5	75.8	1.7	81.5	79.8	1.6
屑米	重(kg/a)	4.8	4.4	0.4	1.6	2.3	▲0.7
屑米	歩合(%)	6.8	7.1	▲0.3	2.4	3.5	▲1.1
千粒	重(g)	23.2	22.9	0.3	22.4	21.8	0.6
わら	重(kg/a)	72.5	66.5	6.0	73.2	67.3	5.9
精籾	重(kg/a)	84.9	75.1	9.8	80.9	74.3	6.6
精玄米	重(kg/a)	65.8	56.9	8.9	65.9	59.3	6.6
収量	平年比(%)	116	100	—	111	100	—
玄米	検査等級	2中	2上		1下	2上	

注1)平年値は、前7か年中、平成23年(最豊年)、同22年(最凶年)を除く5か年の平均値を用いた。
 注2)苗は中苗紙筒、栽植密度は25.3株/m²(33cm×12cm)、1株3本植え。
 注3)本田にはN、P₂O₅、K₂O成分をそれぞれ0.8、0.97、0.69(kg/a)施用した。
 注4)篩目は1.90mmを使用し、精玄米重、千粒重とも水分15.0%に補正した。
 注5)登熟歩合は比重1.06の塩水で調査した。
 注6)表中▲印は「減」または「早」を示す。
 注7)一部の平年値については再計算し数値を修正した

気象図(平成29年)

